

【第1回】令和3年11月6日（土）18:00～20:30 高松市香川総合体育館

「トライアウト測定会・J-STAR プロジェクト」

県内の競技団体（6団体）、日本スポーツ振興センター、保健体育課職員



第1回共通プログラムは、讃岐っ子シニア生と11期生を対象に、高松市香川総合体育館で「競技トライアウト測定会」を実施しました。トライアウトは、個々の運動能力の特性や競技選択に関する情報を収集し、高い専門性を有する競技団体指導者による適正評価によって、今後の競技選択に必要な情報を提供することを目的としています。今回は、ライフル射撃・なぎなた・ウエイトリフティング・アーチェリー・飛込み・ボクシングの計6競技の指導者の方に参加していただきました。

測定は4種目（身長、30m走、立ち幅跳び、長座位ハンドボール投げ）を行い、11期生は初めて行う種目もあり、自分の記録を興味深く確認していました。シニア生は、測定でのスピードや力強さが増している様子が多く見られました。測定記録や指導者からの評価は、郵送により個々へ提供し、希望者はJSCエントリーも行います。

【第2回】令和4年2月26日（土）18:00～19:30 オンライン講演会

「デュアルキャリア教育プログラム～時間の有効活用でパフォーマンス発揮～」

株式会社 BorderLess（ボーダレス）代表取締役 筒井 香 先生

第2回共通プログラムは、スポーツメンタルトレーニング指導士の筒井香先生（株式会社 BorderLess 代表）より、「デュアルキャリア教育プログラム」という演題で大阪からのオンライン講演会を実施しました。

アスリートは、人としての人生と、競技者としての人生を同時に送っている「デュアル＝2重」の「キャリア＝人生・生涯」という考え方のもと、競技以外の時間も有効に使うことで、より競技に集中できる準備をしていこう、とお話をいただきました。

これから、より高いレベルにチャレンジしていくシニア生にとって、勝利という結果だけではなく、さらに「どんなふうに勝ちたいのか」「どんな選手になりたいのか」「どんな大人になりたいのか」等、自分を見つめ直し、行動していくきっかけになる内容でした。

筒井先生からの質問に、参加のシニア生も自分が取り組む競技の魅力や目指す選手像など、活発に自分の考えを話してくれました。「競技生活で身につけた力は、社会でも生かすことのできる力である」という筒井先生からの心強い言葉を胸に、自分の強みをさらに伸ばしてほしいと感じました。